



R3勝山市 地域おこし協力隊活動報告



滝谷 恭兵

目次

①勝山おこしのために具体的に取り組んだ内容

①-1.勝山メディア『itonami』について

①-2.取材者紹介

②そこから得られた成果

②-1.取材を通じた地域の方々とのつながり

②-2.勝山再考のきっかけづくり

②-3.勝山の魅力発見

③来年度の展望

③-1.点ではなく線のつながり

①具体的な活動内容

勝山メディア『itonami』について

勝山メディア『itonami』概要

○コンセプト

”勝山にしかない”を伝えるメディア

勝山に住む人々の暮らしを通して、勝山に流れる営み(物語)を伝える

○目的

勝山に流れる営みを感じてもらうため

最終的には「勝山に行ってみたい」「勝山に住んでみたい」を生み出す

勝山に住む人にとっては勝山の魅力再発見となる機会を提供

勝山に流れる営みを知ることで、地元へ愛着が湧く。愛着が湧くことで地元を自分ゴト化できる。自分ゴト化することで地元へ誇りを持てるようになる

勝山メディア『itonami』概要

○何を伝える？

”勝山にしかない“=営み(物語)を伝える

勝山が持つ物語は勝山に住む人たちの営みによって紡ぎ、築かれていく

勝山に住む人たちの日常・暮らしに光を当て、そこにある営みを紐解くことで、勝山が持つ物語(勝山にしかないもの)を伝えられる

○誰に向けて？

- ・ 勝山をまだ知らない人
- ・ 地方への移住・定住に興味関心がある人
- ・ 地域のまちづくりに興味がある人
- ・ 勝山に住む地元の人々

取材者紹介

勝山水菜農家・但川隆治さん



勝山水菜農家・伊藤佐一郎さん



農遊・土田未来子さん



②活動を通して得られた成果

地域の方々とつながり

勝山再考のきっかけづくり

勝山の魅力発見

③来年度の展望

抱える課題

○点のつながり

現在、取材と発信の単方向のコミュニケーションになってしまっている
取材＆発信のその先がない

○オフラインで交流できる機会・場がない

オフラインでの交流がなければ、その先のアクションにつなげていけない
取材と発信をして、終わりにになってしまう
濃いつながりや共同体としてのコミュニティ形成が難しい

来年度ビジョン

○点ではなく線のつながりをつくっていく

取材と発信の単方向のコミュニケーションで終わるのではなく、その先の交流を生み出し、双方向的な関係性を構築していく

○オフラインで交流できる機会・場をつくる

オフライン交流での機会を通して、有機的なつながりをつくっていく

『itonami』が基点となり、地域の方々との営みを生み出していく

『itonami』を勝山の地域コミュニティのハブにしていく

勝山を盛り上げていきます！